

Face to Face

[フェイストゥ フェイス]
笑顔でつなぐコミュニケーション

Vol.128
TAKE FREE

発行
星野新聞堂
<http://www.shinbundo.com>

2017
8月号
August



Face to Face Talk

「おいしい」は人のつながりから

ふじのくに学校給食を考える会 代表

小櫛 和子

Kazuko Ogushi

4時間目になると給食室から漂ってくる、おいしそうな香り。チャイムはまだかとそわそわしながら教室の時計とにらめっこした記憶は、多くの人が共有する思い出の1ページだろう。ところが現在、静岡県内でこの体験をする子どもは全体の半数にも満たないという。少子化や合理化が進む中で、各学校内の調理場で専属の調理員が作る『自校直営方式』と呼ばれる給食制度が次第に姿を消し、給食センターや委託業者による調理・配送を行う自治体が増えている。各方式にはそれぞれ一長一短があるが、今回紹介する『ふじのくに学校給食を考える会』代表の小櫛和子さんは30年間にもわたり、富士市内(旧富士川町を除く)の小中学校が自校直営で提供する給食の維持に尽力し、地産地消や食育に関する啓発活動にも取り組んできた人物だ。食を通じた人と人、地域と需要をつなぐための地道な努力は、子どもたちの笑顔へと向けられている。

「『おいしい』は人のつながりから」 小櫛 和子

富士市の学校給食は珍しい制度だと聞きましたが、具体的にはどのような点ですか？

「小中学校の給食には大きく分けて、学校の敷地内に調理場が設置されている『自校方式』と、共同調理場で作ったものを複数の学校に運搬する『センター方式』があります。またそれそれに自治体の直営もしくは外部委託といった運営形態の区分もあります。富士市では合併した旧富士川町のエリアを除く25の小学校と14の中学校で自校直営方式を採用していて、学校内の給食室で作ったものを温かい状態で子どもたちに提供しています。これだけの規模で自校直営を維持しているのは県内の自治体では他に例がなく、全国的にも貴重なんです。私たちは今後もこの形を変えることなく、給食を通じた心身の健康と学びの場を子どもたちに提供したいと考えています。一方で、大量の給食を作れるセンター方式が合理的で望ましいという考えがあることは事実で、たしかにコストや人員の削減という点ではそちらが優位です。ただ、学校給食は子どものお腹を満たすことだけが目的ではありません。学校給食法という法律にも、『学校給食は子どもの心身の健全な発達に資するもので、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすもの』と明記されています。世の中が便利になり、お金を払えば食べ物は簡単に手に入りますが、誰が作ったのか見えにくいものよりも、作り手の存在が分かる方が、感謝の気持ちが湧きますよね。また各学校の栄養士や調理員の皆さんのが地域の特産品や季節にまつわる独自のメニューを考案できることも、自校直営の大きなメリットです。」

小櫛さんが代表を務める『ふじのくに学校給食を考える会』としての活動内容は？

「私たちは学校給食の現場に入るわけではない、あくまで応援団の立場ですから、学校・栄養士・行政・保護者・農家・食品加工業者・納入業者・メディアなど、関係者の皆さんとの幅広いつながりを構築して、お互いを結ぶことが活動の基本です。地域の子どもたちのためにより良い給食にしようという点で反対する人はいませんので、それぞれの立場や意見を調整しながら、地元で採れた野菜を使ったメニューの考案や、農家さんに

よる出前授業、納入業者さん向けの研修会などを企画・開催してきました。子どもたちにとっても、食は生きた教材で、科学・経済・歴史など、いろいろな分野の学びや関心を生むきっかけになります。また市場や食品関連企業の方々にも声をかけながら、少し手間がかかるでもおいしくて質の高い給食を提供できるように取り組んでいます。地域活性化という意味でも、地元の食材や料理を特産品として定着させるには、『富士市にはこんなにいいものがあるよ』と外に向かって発信しているだけでは限界があります。この地域には富士山の湧き水が育んだ素晴らしい食材が豊富にありますが、地元に暮らす人がそれらを積極的に選ぶようにならないと、なかなか定着はしません。長い目で見れば、まずは子どもたちが給食を通じて地元の食べ物のファンになることが大事だと思います。」



学校給食の域を超えた、食育や地産地消という価値観を伝えていく活動なんですね。

「食という字は『人に良い』と書きますが、最近は必ずしもそうではなくなっていると感じます。私たちが活動を始めた30年前にはまだ『食育』という言葉も使われていませんでしたし、それ以降に大きな話題となった環境ホルモンや狂牛病、遺伝子組換え食品の問題などはまだ表面化していませんでした。私たちは大きな時代の流れに対してただ何でも反対というのではなく、何が問題なのか、どうすれば子どもたちや社会にとって良いものになるのかを学び、考えながら、行動していく責任があります。合理性・効率性というキーワードとは真逆の発想ですが、そもそも食べ物は合理的なもので

はありません。動物も植物も生き物ですから、規格を作って全く同じものを大量に生産・消費するということ自体、本来は不自然なことです。高度な経済活動や国際化に応じて仕方のない部分もありますが、それが何よりも優先されるというのは良いことではありません。また近年では、農業の衰退や食料自給率の低下なども深刻な問題です。地元で採れた食材をなるべく地元で消費するという小さなサイクルで生活を営むことで、地域経済に活気を与え、その土地本来の特色が維持できます。耕作放棄地などで里山の景観や自然環境が荒れしていくという問題もある中、地域ごとの農業を適切に維持していくことが重要なんです。」

学校給食と関わるようになったきっかけは？

「私自身は栄養士でも調理師でも学校関係者ではありません。最初のきっかけは、30年以上前に参加した富士市の市政モニターOB会という集まりでした。そこで富士市内の学校給食で使う食器がアルマイト製からプラスチック製に切り替わる方針だと知りました。当時、我が子が幼稚園・小学校・中学校にそれぞれ通っていたこともあり、プラスチックから溶け出す化学物質による身体や環境への悪影響に不安を感じて、導入反対の署名活動などを始めました。そこで立ち上げたのが、現在の組織の前身である『富士市学校給食を考える会』です。結果的に食器の変更は止められませんでしたが、学校給食に関わる人々とのつながりができ、学んでいく中で、子どもと食にまつわる課題は他にもたくさんあることに気づきました。その中でも重要で、子どもたちと食を結ぶ最後の砦だと感じたのが、自校直営方式の学校給食を守るということでした。かつては全国的にも自校式が主流でしたが、施設の建て替えや自治体の合併などを機に少しずつ減っていました。富士市では私たちの活動以前から自校直営を守ろうとした先人たちの努力もあって、小中学校の9年間は温かくて工夫を凝らしたおいしい給食が食べられる環境が残っています。また栄養士や調理員の皆さんにはプロ意識が高く、子どもたちのために日々奮闘されています。一例ですが、富士市の給食では昔からおなじみのデザート『サイダーかん』も、大量に作るには技術が必要で、溶かした寒天が冷めて固まり始める直前の65~68°Cになった

小櫛 和子

ふじのくに学校給食を考える会 代表

1950(昭和25)年10月30日生まれ(66歳)

富士市出身・在住

おぐし・かずこ／富士高校、青山学院大学法学部卒。専業主婦として3人の育児に励む中、市政モニターOB会の活動をきっかけとして学校給食の課題に触れ、1987年に約60名のメンバーとともに『富士市学校給食を考える会』を設立し、代表に就任。以後30年間にわたって富士市の学校給食に関する諸問題の改善や食育・地産地消についての啓発活動に取り組む。同会としては2007年より『富士市学校給食地場産品導入協議会』に加わり、給食に地元の食材を安定的に供給する生産・流通・調理の関係づくりに貢献。2017年5月、活動範囲を広げることを目的にNPO法人『ふじのくに学校給食を考える会』の設立総会を開催し、現在に至る。法人の正会員・賛助会員は随時募集中。

【取材・撮影協力】

富士市保健部保健医療課食育推進室／富士市立富士川第一小学校／JA富士市大渕支店

給食はお腹だけではなく、 心を満たすもの

タイミングでサイダーを一気に、均一に入れるそうです。投入が早すぎると炭酸が抜けてしまい、遅すぎると固まってうまく混ざらないからです。世代を超えて人気のメニューの陰には、受け継がれてきたものがあるんですね。私としてはこの恵まれた環境を対外的にもっとアピールして、子育て世代の富士市への転入を促進するくらいの姿勢でもいいと思っています。」

ご自身のお子さんが学校を卒業した後も、長く活動を続けてきた原動力はどこから来るのでしょうか？

「核となるのは、自分や我が子だけ良ければそれでいいのではなく、周りの人や次世代、社会全体を良くしていかなければ意味がないという思いです。自分が社会や自然から受けた恩恵をつないでいくことが、今の時代に生きる者の役目だと思っていますし、私自身もこの活動を通じて人として育てられました。古いメンバーの間では笑い話ですが、活動を始めた頃は定例会を開いても2~3人しか集まらないこともあります。それまでに市民活動の経験などなかった一主婦が、子育ての合間に活動するのは大変で、月に数時間捻出するのがやっとでした。それでも細々と続けてきたことで、地域の食に関するさまざまな人脈ができましたし、富士市の自校直営方式が今まで維持されてきたことに一定の影響

力を持ったという自負もあります。子どもがそれぞれ自立して、親の看取りも終えた今、私自身に残された時間にも限りがある中で、より実行力のある組織としてステップアップするためにNPO法人へ移行する手続きを進めているところです。給食制度のあり方や食に対する考えは人それぞれですが、私たちは考えの異なる人と対立するのではなく、子どもたちや地域のためという観点で、多くの人のとのコミュニケーションを取るように心がけています。自分が正しいと思っていても別の立場の人から見ると違っていて、思いもよらない意見が出る

こともあります。それが新たな気づきや学びの機会となって、じゃあどうすればいいだろう、どこで折り合いをつけようかと、対話を通じて進展させることができます。食は命の源で、例外なく誰にでも関わりのあることですので、そこを要としてみんなが少しづつ手を差し伸べて、汗をかくことで、子どもたちと地域を守る力にしていきたいです。またそんな大人の姿を見ている子どもたちも、自分一人で大きくなれたわけじゃなく、いろんな人の関わりの中で育ててもらったんだと感じてくれたら、それこそが真の食育なんだと思います。」



ふじのくに学校給食を考える会 設立30周年記念シンポジウム
(富士市学校給食を考える会)

『子どもの貧困と学校給食の役割』

子どもの6人に1人が貧困といわれる現在、子どもの置かれた貧困の状況を知り、すべての子どもたちに等しく提供されている学校給食の重要性を改めて考える集いです。

8/7(月) 13:30 開場 14:00 開演
富士市ロゼシアター 小ホール
参加費無料 申し込み不要
問い合わせ先: 090-4866-0228 (小櫛)



富士市の食育推進校である富士川第一小で開催された出前授業。この日の給食では有機農法で栽培した地元の大麦で作ったみそを使ったみそ汁が提供された。『ふじのくに学校給食を考える会』ではこのような事業の企画やコーディネートを通して、地域の食育を長年後押ししてきた。



親子で参加できる料理教室でサイダーかんを作る参加者たち。いつも給食で提供されているメニューを自ら作る経験によって、食への関心と作り手への感謝の気持ちを育む。



JJA職員や食品流通業者、地元農家の皆さんとともに、富士市大淵のとうもろこし畑を視察する小櫛さん(右端)。お互いの顔が見える付き合いを重ねていくことで、新たな企画や事業につながるアイデアが次々と生まれる。



フジサンタカイネ

— 富士を訪れた外国人に 突撃インタビューしてみました —

今年もいよいよ富士山の登山シーズンを迎える。我らが誇る富士山に登るべく、国内外から多くの人が訪れるることは喜ばしい限りだ。ただその反面、山開きに合わせて富士宮口へと続く富士山スカイラインではマイカー規制が敷かれるため、地元住民が五合目までの気軽なドライブを楽しめるのも9月までおあずけということになる。それならば今のうちに、気軽にドライブ……ではなく取材の仕事で訪れた。

6月中旬の富士宮口五合目駐車場は、混雑とは無縁だ。六合目以上への立ち入りが規制されている時期で、旅行者にとっては交通の便も決して良いとはいえない場所だが、それでも外国人の姿はチラホラと見かける。ラッキーなことに、今回はすぐに取材対象者と出会うことができた。いかにも陽気そうな若い男性3人組だ。外国人旅行者に突撃インタビューをしていることを伝えると、取材は快諾してもらえたが、「富士山の感想を聞きたいなら、先に登ってきた方がいいですよね」と、改めて1時間半後に駐車場で待ち合わせということになった。果たして予定通りに戻れるだろうかという懸念はあったが、とりあえず登山口で待っていればそのうち帰ってくるだろうと、しばらく屋外で待つことに。とはいえるこの日は富士市街地こそ30°C近い暑さだったものの、標高2,400メートルでは話が違う。気温はひと桁で、軽装でウロウロするには限界があった。けっきょく車内に逃げ込み、下りてくる彼らを見失わないように、張り込み中の刑事ながら登山口を凝視し続けるという展開に。ずいぶん滑稽な映像だが、どうせならあんパンと牛乳でも持ってくれればよかったですと思いつ始めた頃、ようやく3人が下りてきてくれた。

いつもなら「どちらのご出身ですか?」という質問から自然に会話が進むのだが、今回は3人の答えがバラバラで、状況を理解するのに少し時間がかかった。ノルウェー出身のオルセン・エリックさん(21歳)、スウェーデン出身のハンソン・ヘンリックさん(22歳)、スイスとスペイン出身の両親を持つヴィラル・エステヴァンさん(22歳)の3人は、スペイン・マドリードの大学で経済学を学ぶクラスメイト。つまり留学生同士ということだ。日本への旅は計7日間。基本的にはずっと東京に滞在していて、この日はレンタカーを借りて、途中箱根に立ち寄ってからここまでやって来たという。滞在中に京都にも行かなければ新幹線にも乗らない個人旅行者というのも珍しいと感じたが、これまでの体験で一番楽しかった場所を聞いてみると、「新宿のネオン街とロボットレストラン」という答えが返ってきて、一瞬目が点になった。『ロボットレストラン』というのは新宿・歌舞伎町にある劇場型レストランで、その名の通り巨大なロボットや過激な衣装のダンサーが歌い踊るという、派手なショーを見られることで話題になったスポットだ。若い男性にとってはこれもまた日本の魅力のひとつとして受け止められているということが分かり、新鮮な驚きだった。また今回の旅行先に日本を選んだ理由をヴィラルさんに聞くと、「僕たちは幼い頃からテレビゲームのスーパーマリオが大好きで、マリオが生まれた日本という国に憧れを抱いていました。当時はゲームに出てくる背景は日本の景色などと思い込んでいましたよ(笑)」と話してくれた。去年のリオオリンピックの閉会式で、マリオに扮した安倍首相がサプライズで登場するという演出があつたが、日本国内での評判は別としても、海外向けの発信と



左から、ノルウェー出身のオルセンさん、スウェーデン出身のハンソンさん、スイス出身でスペイン国籍も持つヴィラルさん。

しては案外効果的なパフォーマンスだったのかもしれない」と、今さらながらふと感じた。

そんな現代っ子の3人だが、「日本に来てイメージが変わったことは?」という質問には胸に手を当てながら、「日本人の心の優しさに感動しました。以前からいいイメージは持っていましたが、実際に日本に来てみると人々が本当に親切で、さらに印象が良くなりました」と語ってくれた。また移動にレンタカーを選択したのは日本の自然や風土を間近で感じるためだったそうで、実際に箱根や富士山を巡ったことでそれを味わうことができ、日本への興味がさらに深まったという。六合目から宝永火口へと向かう登山道では、速い流れで瞬く間に景色を変えていく雲に全身を包み込まれる体験をしたらしく、そのようすをスマートフォンに収めた動画を自慢げに見せてくれた。登山シーズンではなくても、富士山はその圧倒的な存在感で外国人観光客に素晴らしい感動と思い出を与えてくれているようだ。こちらとしても、車の中で長時間待った甲斐があったというものだ。



① 後日ヴィラルさんに提供していただいた宝永火口での一枚。この日は青空が見えたかと思えばあっという間に濃い霧がたちこめる、ドラマチックな天候だった。

② 箱根・芦ノ湖畔の和食店にて。3人が好きな日本食は、ラーメン、うなぎ、そしてなぜかワカメという答えが。北欧ではワカメは日本からの輸入が大半を占める高級品という扱いで、スープではなくサラダとして食べることが多いそうだ。

③ 夜の新宿での記念写真。路地裏の飲食店街も彼らにとっては日本文化を堪能できる立派な観光地。それにしても3人とも楽しそうだが、この夜この街で何があったのか、あえて詳しくは聞かないことにした。



焼肉 玉起園

焼肉 玉起園
富士市森島 102-2 TEL 0545-63-2316
昼 11:30 ~ 13:30 夜 17:00 ~ 22:15(L.O.)
001020-8929-84 火曜定休(時々営業)



玉起園 検索 <http://www.tamakien.net/>



8月限定 しゃぶしゃぶ祭



黒毛和牛のしゃぶしゃぶ 4,000円→3,000円(税別)
(黒毛和牛サーロイン・お野菜・きしめん・デザート)

しゃぶ御膳 5,000円→4,000円(税別)
(小鉢・前菜付)

しゃぶコース 6,000円→5,000円(税別)
(小鉢・前菜・刺身付)

日本料理 しゃぶしゃぶ はせ川

日本料理 はせ川
富士市吉原 3-3-14 TEL 0545-52-0343
11:30 ~ 13:30(L.O.) 17:00 ~ 20:00(L.O.)
日曜夜定休 駐車場あり

はせ川 検索 <http://www.fujihasegawa.com/>



夏バテ防止に
《7~8月限定》
カレーフェア開催中

各種 ¥1,100(税込)
(全品にサラダ・スープ・ヨーグルト・ドリンク付き)



Kitchen Corie コリエ

Kitchen Corie コリエ
富士市高嶺町7-28 ツインビル1F東 駐車場あり
11:00~20:30(カフェタイム 14:30~16:30)
火曜定休(祝日は営業) TEL 0545-38-9593



Event Schedule

富士・富士宮 イベントスケジュール

7/20(木) ハンドメイドマーケット ゆめハピ♪

朝日夢工房 エアリーハウス&会議室
10:00 ~ 14:00 (富士宮市北山 5285-9)

大好評の新鮮野菜やかわいい小物の販売などのワークショップです。浴衣の着付け・簡単な帯の結び方をお教える夏おすすめワークショップもあります。

近藤 090-9914-9624

7/28(金) 姿勢改善教室

富士市富士川ふれあいホール 和室
①10:00~11:00 / ②11:15~12:15 各回15分前から受付
参加費: 800円(教材費込み)

猫背・骨盤の歪みが気になる方。姿勢が改善されることで肩こりや腰痛も解消されます。エクササイズを覚えてしまえば、自宅でも簡単にできます。これを機会に姿勢改善を!

ヒロ鍼灸治療院 山口 090-4444-6920

8/11(金・祝)~16(水) 2017 平和のための富士戦争展

富士市ロゼシアター 展示室
9:00 ~ 17:00(8/11(金・祝)のみ 10:00 開会式)

今年で 30 周年。資料・写真で見る戦争、富士市内の戦跡、戦時中の暮らし、憲法施行 70 年、子どもコーナーと多彩な展示です。小・中・高校生の夏休み調べ学習にも最適です。

平和のための富士戦争展の会 加藤 090-2260-9531

8/23(水) 1周年ありがとうまつり ~1周年記念 家族で楽しむ音楽会~

ミューズアサギリ(富士宮市猪之頭 1752-1) 雨天決行
野菜販売 11:00 ~ 試食会 12:00 ~ コンサート ①11:00~/
②13:00~/③14:00 ~ 各 500 円 お礼の歌 15:00 ~

畑をはじめて 1 年。感謝の気持ちを込めて、野菜 & 音楽(オカリナ・ピアノコンサート)のおまつりを行います。

たむ農園 田村 080-3645-4472

7/9(日) たぬき湖夏まつり 2017

田貫湖ふれあい自然塾 10:00 ~ 15:00 雨天は室内
参加費: 生き物コーナー: 無料 ~ 300 円 / あそびコーナー: 無料 ~ 800 円 / 食事コーナー: 400 ~ 900 円

感謝の気持ちを込めて、自然あそびと生き物のふれあいが満載! はらべこのための安ウマ料理もたくさん! 詳しくは「たぬき湖夏まつり」で検索してみてね♪

田貫湖ふれあい自然塾 0544-54-5410

7/20(木) ~ 22(土) ご仏壇用お供え花造り体験教室

Little Bridge リトルブリッジ(富士市伝法 573-2)
①10:30 ~ 12:30 / ②13:30 ~ 15:30 定員: 各回 3 名
参加費: 2,800 円(材料費込み)

ご自分で造られたプリザーブドフラワーアレンジを飾って、お盆をお迎えしてはいかがでしょうか。ぶろぐページ写真(前列左)のお供え花を作ります。

Little Bridge 0545-67-2550

7/15(土) ハンドメイドワンディーショップ PoWa * PoWa

ホワイトパレス 中庭(富士市青島 200-1)
10:30 ~ 14:00 雨天中止

かわいい小物はもちろん、夏のでおでかけオリジナルアイテムも販売します。手作りシロップがおいしいかき氷や、新商品「飲むプリン」もやってくるのでお楽しみに!

PoWa * PoWa 佐野 090-6767-8590

7/22(土) ファミリーめっせ 2017 ~ Mama&Papa Friendly City ~

富士宮市民文化会館 全館 10:00 ~ 15:00

年に一度の子育て世代向けイベント。ボランティアの力を集結させて、ママ&パパに優しい町を文化会館内に再現! 子育て世代に出会ってほしい「店・モノ・こと」体験大集合♪

NPO 法人 母力向上委員会 0544-78-0741

8/4(金) ~ 7(月) ママ、作っ展 vol.7 ~寝てるマにママが作る あれこれ~

富士宮市富士山環境交流プラザ
9:00 ~ 17:00(最終日 ~ 15:00)

ママたちが子どものために作った作品を展示しています。似顔絵 Tシャツ・園グッズなどいろいろ♪ 参加できるワークショップ(各 500 円)も盛りだくさんでご用意しています。

富士宮市富士山環境交流プラザ 0544-59-0050

8/20(日) ほか全5回 ※下記参照 親子でいろいろ体験あそび 2017

①8/20(日) 10:00 ~ 14:00 富士山こどもの国
②9/17(日) 10:00 ~ 11:45 富士市交流プラザ
③10/1(日) 10:00 ~ 14:45 丸火自然公園
④11/26(日) 10:00 ~ 11:30 富士市交流プラザ
⑤12/10(日) 10:00 ~ 11:45 まちづくりセンター(予定)
参加費: 全 5 回分 大人・子ども共 1,500 円 定員: 親子 30 組
申込: 7/1(土) ~ 下記電話または FAX: 0545-62-1423 で受付

NPO 法人 あそび子育て研究協会 渡井 090-5623-0208

8/24(木) 女子的☆キャリア図鑑

富士市フィラソセ 西館 4F 大ホール 10:00 ~ 11:40
定員: 100 名 ゲスト: 川村都美さん(とみ皮膚科クリニック院長)・中田香苗さん(整理収納アドバイザー)・荻田愛弓さん(㈲荻田企画取締役・ラジオ f ナビゲーター)

「自分らしくはたらくために」、からだ・くらし・人とのつながりを整えるヒントがもらえます。子どもイベント同時開催!

f きゃる 0545-32-6958

8/5(土) 若者サポート養成講座 同時開催『ココ☆カラ』フェス

富士市教育プラザ 大会議室(富士市八代町 1-1)
13:00 ~ 16:30 対象: 若者の支援に興味のある方・おせっかい好きの方 定員: 30 名

ニートやひきこもり・不登校など社会生活を円滑に営むことが困難な若者に、おせっかいをやいてみませんか?

富士市若者相談窓口 ココ☆カラ 0545-55-0562

8/21(月) 性別で見る多様性と人権 ~誰もがいきいきと輝く未来へ~

富士市フィラソセ 西館 4F 大ホール 13:30 ~ 15:00
申込: 8/15(火)までに下記問い合わせ先へ電話または FAX: 0545-55-2864 で受付
講師: 飯田亮瑠(いいだあきる)さん(ダンビーノン代表)

性の多様性(LGBT・性同一性障害等)への理解を深める講演会です。

富士市市民部多文化・男女共同参画課 0545-55-2724

9/26(火) ~ 全7回 保育士・幼稚園教諭就職のための研修

富士市フィラソセ 9:30 ~ 11:40 参加費: 500 円
定員: 20 名(抽選) 託児あり(1 回 500 円 / 名)

保育士・幼稚園教諭資格を保有しているが、現在保育現場で就職していない方で、富士市在住、または富士市での勤務を希望する方のための研修です。

まちの遊民社 0545-51-1112

BEER GARDEN

ビアガーデン大好評営業中!

今年のテーマは「女性も楽しめるビアガーデン」
さあ、気の合う仲間とカンパイ!!



~8月31日(木)まで

営業時間/17:00 ~ 21:00

飲み放題付 120分
セルフフリードリンク
¥5,000

RISTORANTE ITALIANO
Campana

APA HOTEL
<富士中央>

ご予約優先 TEL.0545-51-7555
〒417-0056 静岡県富士市日乃出町38番地 www.suzuwa.co.jp



※10名様以上の予約で
あります。

※写真のお料理は4名様盛です。

出逢いと語らいは、樟泉閣で・・・



最大
300名
収容

- ◆会席料理・パーティー料理(お一人様3,500円~)
- ◆飲み放題プラン(お一人様2,000円~)
- ◆便利な無料送迎バス(10名以上でご利用のお客様)
ご予算、お料理内容などお気軽にお問い合わせください。

三日市の森
樟泉閣
shōsenkaku

0120-52-7661

〒417-0073 静岡県富士市浅間本町5-1
【営業時間】10:00 ~ 21:00 駐車場あり
www.shōsenkaku.jp

同窓会
歓送迎会
結婚報告食事会

お盆ふるさと帰り・家族食事会
ワンドリンク付
お一人様 5,000 円(税・サ込)
七五三食事会もご予約承ります

- ◆車いすのままで乗車できる!
福祉車両貸し出し対応
- ◆バリアフリーで移動も快適!
館内エレベーター完備



7/16(日) いちばの朝市

岳南富士地方卸売市場(富士市田島 100) 7:00 ~ 11:00

大好評の「いちばの朝市」ではお客様のために、採れたて野菜やくだもの、生シラスや生フルーツゼリーなど、おいしい&新鮮&お買い得商品をご用意してお待ちしています。生鮮品が当たるお楽しみ抽選会も開催!

いちばの朝市 実行委員会(佐野青果内) 0545-53-1360

7/22(土) これからのまちづくりシリーズ第2弾 審議会っておもしろい!

富士北まちづくりセンター 多目的室 13:30 ~ 15:30
申込:7/14(金)までに富士市多文化・男女共同参画課(電話:0545-55-2724 / FAX:0545-55-2864)で受付

「なんで?」を共有できるティータイムを過ごしませんか?
無料託児あり。性別・年齢問わずどなたでも参加できます。

Power up Fuji 小櫛(おぐし) 090-4866-0228

8/6(日) Glück ~音楽で皆様を幸せに~

富士市ロゼシアター 小ホール 13:30 開場 14:00 開演
入場料:大人 2,000 円 高校生以下 1,000 円

富士市出身の若手演奏家ユニット Glück(グリュック)。
メゾソプラノ川口真貴子・ヴァイオリニスト三雲はるな・ピアノ
後藤碧生が、素敵なメロディーを奏でます。

ロゼシアター 0545-60-2500

今月の 注目 イベント

富士市ブランドメッセージ大作戦 「いただきへの、はじまり」 発売記念イベント 結花乃 ミニライブ&サイン会

vol.126 でご紹介した富士市出身・在住で医大卒、元看護師という異色の経歴を持つシンガーソングライター結花乃さん。シングルリリースイベントとしてミニライブが開催されます。結花乃さんのCDをご購入された方を対象に、サイン会も行われます。結花乃さんの透明感のある歌声を聴きに、ぜひお出かけください。

7月9日(日)
①13:00 ~ /②15:00 ~
イオンタウン富士南
1Fセントラルコート
(富士市鮫島 118-10)

【お問い合わせ】
ピースボイスエンターテイメント 03-6380-8366

7/19(水) ~ 30(日) ※24(月)休廊 薄茶アラレ展

RYU GALLERY(富士宮市万野原新田 3920-11)
11:00 ~ 17:30 作家在廊日:7/23(日)・29(土)・30(日)

日本文学館絵本優秀賞作品『ヤモリのゲック』を出版された薄茶アラレさんの、フェルト人形や絵本・小物の展示会です。かわいい手作り小物が、たくさん展示されています。

RYU GALLERY 0544-91-7043

7/19(水) 牡蠣の凄さを知ろう

ちいさな森(富士市永田町 2-22) 14:00 ~ 15:00
参加費:1,000 円 定員:5名

牡蠣の栄養の凄さを楽しく学んでみませんか?漢方の古典書『日用食のかがみ』にも「牡蠣は体に良い」と記されています。健康について一緒に考えましょう。

ちいさな森 0545-32-8377

7/22(土) 要申込

これからのまちづくりシリーズ第2弾

審議会っておもしろい!

富士北まちづくりセンター 多目的室 13:30 ~ 15:30
申込:7/14(金)までに富士市多文化・男女共同参画課(電話:0545-55-2724 / FAX:0545-55-2864)で受付

「なんで?」を共有できるティータイムを過ごしませんか?
無料託児あり。性別・年齢問わずどなたでも参加できます。

Power up Fuji 小櫛(おぐし) 090-4866-0228

7/23(日) 要申込

夏期 富士地区 囲碁大会

社会福祉センター田子浦荘 9:00 ~ 参加料:1,200 円
(昼食込)富士支部会員 1,000 円 対象:年金受給者の方
申込:7/13(木)までに下記問い合わせ先で受付

囲碁を愛好している皆さま、夏期大会を行います。他地区の方、女性の方も大歓迎です。膝でお困りの方も安心してお越しください。上位賞品・参加賞もあります。

富士支部囲碁部委員 平井 0545-62-0319

8/6(日) 要申込

Glück ~音楽で皆様を幸せに~

富士市ロゼシアター 小ホール 13:30 開場 14:00 開演
入場料:大人 2,000 円 高校生以下 1,000 円

富士市出身の若手演奏家ユニット Glück(グリュック)。
メゾソプラノ川口真貴子・ヴァイオリニスト三雲はるな・ピアノ
後藤碧生が、素敵なメロディーを奏でます。

ロゼシアター 0545-60-2500

8/8(火) 要申込

8020(ハチマルニイマル)歯科検診

富士市フランセ 西館 1F 歯科検診室
日程:8/8・21・29、9/4・12・25 受付時間:①12:50 ~
13:10/②13:20 ~ 13:40/③13:50 ~ 14:10/④14:20 ~
14:40 所要時間:1人 1 時間程度 料金:300 円
対象:20 歳以上の富士市民 定員:受付時間ごと 8 名

歯科医師による歯科検診、歯科衛生士による歯周病の話等

富士市役所 健康対策課 成人保健担当 0545-64-8993

イベント情報募集中!

次号発行日 8/13(日) 以降に富士・富士宮で開催するイベント情報を募集中です。

掲載依頼はメール・FAX・Facebookメッセージ・お電話でどうぞ。折り返し編集部よりご連絡致します。※無料掲載。内容のチェックがあります。

掲載依頼・お問い合わせは…

星野新聞堂 Face to Face 編集部

TEL: 0545-55-0033 (編集部直通)

FAX: 0545-52-9757

メール: facetoface@shinbundo.com

Facebook: 『Face to Face 富士』で検索

日常の中で見つけた、つい撮ってしまいたくなる、あんなモノやこんなモノ、ありますよね?ひとりでニヤリと楽しむだけじゃもったいない!紙面上で共有しちゃいましょう♪



twitotter つい撮ったー。



富士市平垣本町

ヤスマラ さん

あの芸人のネタを
拝借しただけなのか、夜
になると LED 電球など
で本当に明るくなる掲
示板なのか、謎です。

おそらく、いや、きっと前者だと思いますよ(笑)。ただ、
このネタに乗じて富士駅前に「穿いてなさそうで穿いて
る人」が多数出没しないことを祈ります。(編集部)

あなたの1枚募集中!

「奇跡の瞬間」「クスッと笑えるモノ」「癒される表情」etc...あなたが身近で発見したネタを写真に撮って編集部まで!お住まい(町名)・お名前(ニックネーム可)・写真の説明文(40~60文字程度)を添えて、メールでお送りください。

✉ facetoface@shinbundo.com



採用された方には粗品を進呈☆

粗品発送先確認のため、投稿が採用された方には編集部よりご連絡いたします。メール受信設定などによりメールが届かない可能性がありますので、掲載号の発行日より2週間以上経過した場合は、お手数ですが編集部までご連絡ください。

富士の老舗ホテルのグランシェフが腕を振るいました!
気の合う仲間やご家族でお楽しみ下さい。

ホテルグランド富士

The GRAND VIKING 2017 夏ランチ

期間限定 グランドバイキング 2017 夏ランチ
7月26日(水) ~ 8月1日(火) の 7 日間 11:00 ~ 14:30 (入店は13:30迄)

20種類以上の料理 + 18種類のデザート 食べ放題!

フレンチ、日本料理、中華料理、バラエティー豊かな料理が入替りで登場!



注目料理
ローストビーフ
シェフがその場でカットし盛り付けます

予約がお得です(前日迄) ☎ 0120-561-063

料金 (税込) 90分

大人 2,800 円 (予約 2,500 円)
小学生 1,400 円 (予約 1,200 円)
幼児 600 円 (予約 500 円)

楽しいテーブルマジック

ハッピーをお届けする
マジシャン O.I.L. オイル

お楽しみに!!
7/29(土) 30(日) 2日間限定

Hotel Grand Fuji

http://www.grandfuji.co.jp

〒416-0913 静岡県富士市平垣本町8-1

TEL. 0545-61-0360 FAX. 0545-61-8564

富士市の
皆さんへ

夏の夜は家族で

清水港納涼船を 楽しんでみませんか?



2017年 7月 運航日

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

31

■エスパルスドリームプラザ
海側マリンパーク横(日の出のりば)

■岸側の市目の前(江戸のりば)

2017年 8月

1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

■エスパルスドリームプラザ
海側マリンパーク(日の出のりば)

または 河岸の市目の前(江戸のりば)

18:00より乗船可能(船は停泊状態)です。

19:00出港 40分間のナイトクルーズをお楽しみください。

または 河岸の市目の前(江戸のりば) 19:40帰港(20:00まで停泊のまま船でお楽しみいただけます。)

乗船料 大人 1,300 円 (税込)

小人 (小学生) 650 円 (税込)

幼児: 大人1名につき1名無料

1,800 円 (税込)

大人 1,500 円 (税込)

小人 850 円 (税込)

生ビール1杯付(税込)

ワンソフトドリンク付(税込)

大人 1,500 円 (税込)

小人 850 円 (税込)

持ち込み自由!

※船上イベントはHPでご確認下さい。

※予告なく運航日程やのりばが変更になる場合がありますので予めご確認のうえお越し下さい。

食べ物 持ち込み自由!

ご予約 TEL. 054-353-2222 営業時間 / 9:00~17:00 清水港タ涼みクルーズ 検索

2名様からご予約可能! 前日正午まで

~テイル トゥ テイル~

TailS to Tail

犬種:トイ・プードル

大輔くん
(男子 3歳)

住んでいるところ: 富士市松本

しっぽでつなぐ
コミュニケーション

出会いのエピソード

「先代犬を病気で亡くして悲しんでいた時、殺処分されるところをボランティアさんに保護された大輔と出会いました。一つでも命を救う協力がしたいと思い、里親に応募しました。すぐに引き渡されるのかと思っていたが、他の犬との集団生活を経験し、社会性を身につけ、トイレの躰までしていただいて譲渡してもらいました。おかげで手のかからない良い子で、とても飼いやすいです。」

性格

「食いしん坊で甘えん坊。抱っこも大好きです。だけど毎日のお散歩も楽しみにしています。」

Radio-fでおなじみ

“アニマルDr.ジャック”こと勝亦先生の **ワン** ポイントアドバイス*

留守番と無駄吠え

出かける時、過剰に撫でると「もう帰ってこないのでは?」と思わせてしまいます。ポストに新聞を取りに行くような気楽な感じで出かけましょう。ワンちゃんは飼い主さんと離れると寂しくて不安になります。必ず帰ってくるという安心感を与えましょう。無駄吠えも「私があなたを守るから大丈夫だよ」と声に出して伝えてあげることで、他の犬やチャイムなどに吠えることも少なくなるでしょう。

富士動物医療センター 富士市今泉 2302-3 TEL: 0545-57-0001 http://www.famcjp.com

名前の由来

「ソチオリンピックの時期に産まれたので、男子フィギュアスケートで活躍した高橋大輔選手からいただきました。」

大輔くんへ ひとこと

「大輔のおかげでとっても幸せだよ。このまま仲良く暮らしていこうね。」

バイバーい
つぎはだれかな?
→ Next →
しっぽと しっぽ
でバトンタッチ!!

星野新聞堂カスタマーセンターからのお知らせコーナー

新聞堂しんぶん

**子どもも大人も楽しめる
朝日小学生新聞**

「朝小」こと朝日小学生新聞は、今年で創刊50周年だそうです。ということは初期の朝小を読んで育った子どもたちはもう還暦。「子どもたちに社会のニュースへの興味をもってほしい」というコンセプトを守って半世紀間続けてきました。海外にもいわゆる“子ども新聞”がないわけではないのですが、歴史の長さや種類の多さ、そして朝小のような（週刊ではなく）日刊紙の存在など、日本の子どもを取り巻く新聞環境がいかに充実しているかがわかります。これは子どもの教育水準や言語運用能力にも直結する大事な文化的土壌なのだと思います。

これを書いている私も朝小を読んで育ちましたが、アニメや実写映画にもなった『落第忍者乱太郎（忍たま乱太郎）』や、創刊間もない1969年から続いている『ジャンケンポン』などの連載マンガが印象に残っている人も多いことでしょう。ちなみにこの『ジャンケンポン』は、「掲載回数の最も多い4コママンガ」としてギネス記録に認定されているそうです。一方でメインとなるニュース記事は子ども向けて書かれている分、分かりやすくバランスよくまとまっているので、実は朝小を活用している大人もけっこういるそうです。

そんな朝小ですが、中心的な対象年齢は小学4～6年生くらい。個人差もありますが早い子は2年生くらいから楽しめます。毎日ニュースを読む習慣がつき、勉強や知識吸収への意欲、社会への興味を刺

激するので、富士の小学生みんなに読んでほしいくらいです。夏休みの自由研究のヒントになり、さらに、遠く離れて暮らす孫に購読をプレゼントする「朝学ギフト」という仕組みもあるので、この夏、身内に小学生のいる方はぜひひぜひご検討を！



朝日小学生新聞
毎日発行

月決め 1,769円 (税込)



読者プレゼント



凍らせて美味しい! 夏の贈り物に

3個セット 5名様

【プチ・ラパン】富士市伝法 2308-35



不思議がいっぱい「石の世界」へ

ペア 5組様

【奇石博物館】富士宮市山宮 3670

応募方法

下記の内容をご記入の上、ハガキまたはメールにてご応募ください。

①希望賞品名 ②氏名 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号 ⑥「Face to Face」の入手先 ⑦「Face to Face」へ一言（今月号の感想、面白かった記事、紙面全般へのご意見・ご要望、今後取材して欲しい人など）⑧プレゼント提供先に対する感想・イメージ・要望など

■ハガキ: 〒417-0049 富士市緑町1-28
星野新聞堂『Face to Face』プレゼント係

■メール: facetoface@shinbundo.com

* ご応募は1世帯1通のみ受け付けます

* 空メールでのご応募は無効となります

* 6月よりハガキの郵便料金が62円に改定となりましたのでご注意ください

締切り 7月24日(月) 必着

当選者の発表は賞品もしくは引換券の発送をもって代えさせていただきます。引換券から賞品への交換は店頭にてご当選者様ご自身で行っていただきますので、ご了承ください。

応募用
QRコード



星野新聞堂のウェブサイトで『Face to Face』のバックナンバーをご覗いただけます

『Face to Face』編集部 TEL: 0545-55-0033 E-mail: facetoface@shinbundo.com

<http://www.shinbundo.com>

次号(Vol.129) 発行日は8/13(日)です